

調布市公立学校 PTA 連合会 70 周年記念事業 令和 7 年度 教育懇談会 開催報告

12月10日、たづくり「くすのきホール」にて、調布市公立学校 PTA 連合会 70 周年記念事業として「令和 7 年度 教育懇談会」を開催しました。当日は市長・教育長をはじめ、学校長、学校運営協議会委員、地域学校協働本部関係者、PTA 関係者など約 200 名が参加し、今年度テーマである「コミュニティ・スクールと PTA」を軸に、これからの学校と地域の関係を見つめ直す時間となりました。事前アンケートの集計結果も当日共有しました。今後のコミュニティ・スクール運用や PTA 活動のあり方を考えるうえで、共通の材料として活用できる内容です。



講演概要（要約）

講演 1 コミュニティ・スクールとは何か～「学校と地域の連携・協働」を本物にするために～

講師 四柳 千夏子 氏（文部科学省 CS マイスター、東京都 CS アドバイザーなど）

四柳氏は、CS（コミュニティ・スクール）を“形だけで終わらせず本物にする”視点を提示しました。CS は PTA とは法的位置づけが異なり、CS には基本方針の承認等の権限がある一方、最終責任は校長にあることなどを確認。重要なのは設置して終わりではなく、学校の PDCA に地域・保護者が関わり、子ども像を共有し合意形成を進めること。地域は「学校の便利屋」ではなく対等なパートナーであり、声を集めて届ける積み重ねが、子どもが安心して通える学校づくりにつながると結びました。

講演 2 新しい豊かさを生み出す地域の力～子どもたちの“今”から考える～

講師 西牧 たかね 氏（調布市子ども若者総合支援事業学習支援コーディネーター）

西牧氏は「地域」を子どもを取り巻く人・場・つながり全体と捉え、支援現場から“子どもの孤独”や“自信のなさ”に光を当てました。「うちの子」だけでなく「私たちの子どもたち（For us）」という視点が地域の教育力を生むこと、そして必要なのは信頼できる大人との出会いと小さな肯定的体験だと強調。最後は「どうせ無理」ではなく「どうやったら？」と問い続ける“Can Do 文化”と、「本当はこうだったらいのに」を諦めず歩む姿勢が、新しい豊かさをつくと締めくくりました。

添付資料について

本資料には、当日公開した事前アンケート集計結果と講師配布資料を添付しています。ぜひご覧いただき、各校で「コミュニティ・スクールと PTA のこれから」を考える手がかりとしてご活用ください。また、講演の録画も QR コードから閲覧できます。私たち P 連も、70 年目の節目を「次の一歩」へつなげるため、現場の声を丁寧に束ね、学校・地域とともに取り組みを進めてまいります。講演録画 URL → <https://youtu.be/y5c9ffW9298>

講演の録画を閲覧することが可能です

